

新しい生活様式を実践しましょう

日常生活における各場面の実践例

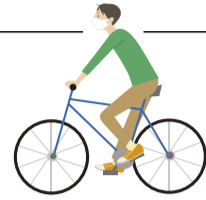
(買い物)

- ・電子決済を利用する
- ・通販を利用する
- ・計画を立て、一人または少人数ですいている時間に素早く済ます
- ・サンプルなどへの接触は控えめにし、レジで並ぶときは前後の間隔をあける



(公共交通機関の利用)

- ・会話は控えめにする
- ・混んでいる時間帯は避ける
- ・徒歩や自転車を併用する



(娯楽・スポーツなど)

- ・公園はすいている時間や場所を選ぶ
- ・筋トレやヨガは自宅で動画を活用する
- ・ジョギングは少人数で行う
- ・人とすれ違う時は距離をとる
- ・狭い部屋での長居は避ける
- ・歌や応援は、十分な距離をとるかオンラインで行う



(食事)

- ・持ち帰りや出前、デリバリーを活用する
- ・料理は大皿を避け、個々に分ける
- ・対面ではなく横並びに座る
- ・お酌やグラスなどの回し飲みは避ける



(イベントなどへの参加)

- ・多人数での会食は避ける
- ・発熱や風邪の症状がある場合は参加しない



(参考:厚生労働省Webサイト)

働き方の新しいスタイル

- ・テレワークやローテーション勤務を行う
- ・オフィスは広く使い、時差出勤を導入する
- ・会議や名刺交換はオンラインで行う
- ・対面での打ち合わせをする場合は換気とマスクを着用する

(参考:厚生労働省Webサイト)

庁舎内での取り組み

市川市では新型コロナウイルス感染症対策として庁舎内で以下の取り組みを行っております。

窓口に
関して

- ・机やいすのアルコール消毒
- ・アルコール消毒液の設置
- ・アクリル板の設置
- ・待合スペースの間引き
- ・空気清浄機の設置

☎712-8647管財課

職員に
関して

- ・マスクの着用
- ・テレワークの実施
- ・時差出勤の導入
- ・オンライン会議
- ・職員の分散配置

☎712-8574職員課

新型コロナウイルスに伴う市川市の取り組み

文化芸術活動緊急支援給付金「ICHIKAWA Artists for Tomorrow」

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により、文化芸術活動を自粛・縮小せざるを得ないアーティストの方へ活動を支援する給付金を交付します。また創作活動の発表の場を失ったアーティストの方が発表できる場としてオンラインサイトを構築し、市民のみなさんが在宅でも文化芸術に触れることのできるアート空間を提供します。詳しくは、市公式Webサイトを

募集作品数 50件
給付金額 1件あたり20万円を給付



- 募集期間 7月17日(金)まで
- 応募対象 市内在住もしくは市内に主な活動拠点があるプロのアーティストやスタッフなど
- 対象分野 文学、音楽、美術、写真、演劇、舞踊、映像、伝統芸能など
- 応募方法 市公式Webサイトより申込用紙をダウンロードし、原則メールなどのオンラインにより提出
- 選考方法 募集要項などに基づき、企画内容を審査の上、給付対象を決定

☎300-8020文化芸術課

キャッシュレス決済普及促進事業

新しい生活様式の中で市内経済を支援するため、市内店舗で二次元コードやバーコードを使ったキャッシュレス決済で買い物などをした際に消費者に10%分のポイントを付与します。

ポイントは7月～12月(予定/周知期間を含む)※ポイント付与総額が、予算額に達した時点で終了

詳しくは、市公式Webサイトでお知らせします。

☎711-3691商工業振興課

住居確保給付金の支給

離職・廃業された方や、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け減収となった、一定の要件を満たす方を対象に住宅の家賃を補助(ただし上限あり)のほか、就労支援員による就労支援を行います。

なお、給付金は賃貸住宅の賃貸人や不動産媒介事業者などへ本市から直接支払われます。

詳しくは市公式Webサイトを

☎704-0010市川市生活サポートセンターそら(生活支援課)

財政措置

令和2年6月議会において、下記のとおり補正予算を提案し可決されました。

令和2年度一般会計補正予算(第4号)

歳出予算 計35億3568万1千円

- ①新型コロナウイルス感染症への対応 33億557万1千円
- ②公共施設や都市基盤の整備 2億2920万円
- ③その他必要となる事業費 91万円

☎712-8595財政課